



親鸞聖人関東最初のご布教地

浄土真宗本願寺派 大高山證誠院
がんだいぎゅうじ

願牛寺墓苑 常総市蔵持 (旧石下)

新区画分譲開始

10/6土・7日 9:00~16:00
現地見学会開催!

墓地のご購入をお考えの方は、実際にお越しいただき
墓苑の設備や雰囲気、景観などをご見学ください

逸話1 願牛寺の名前の由来とは?

親鸞聖人が、関東下総で最初に建てたお寺といわれ、初代住職も務めたのが大高山證誠院・願牛寺。
名称にあるよう「牛」にゆかりがある。寺が建つ大高山は高台にあり、造営の際に材木を運ぶのは難儀を極めた。そこに一頭の牛が現れ、自らの背に材木を乗せ、材木を残さず運び上げたという。「牛の願いによって成就した寺」ということから、親鸞聖人が「願牛寺」と名付けた。

逸話2 阿弥陀如来の絵像の元になった掛け軸

願牛寺のご本尊となっているのは阿弥陀如来の掛け軸。この掛け軸は寺の前の沼に生えていた蓮から蓮糸を作り、織り上げた布に親鸞聖人が金泥で描いたと伝えられ「蓮糸の尊像」と呼ばれている。本願寺第三世の覚如上人が願牛寺に立ち寄った際、随従した絵師に「蓮糸の尊像」を模写させたといわれ、現在、浄土真宗の家庭の仏壇に飾られる阿弥陀如来の絵像の元になったと寺伝にある。

逸話3 親鸞聖人の教えを今に伝える

親鸞聖人が創建し、住職も務めた由緒あるお寺・願牛寺。親鸞聖人は特別な修行をしなくても、教えを学び、「南無阿弥陀仏」と称えながら、自分の行動が煩惱にまみれ、自己中心的になっているということをしつづつ気づいていくなさいと説いた。願牛寺は親鸞聖人の教えを今に伝えるお寺。竹や樹木が生い茂る幽玄閑寂の境内には、改修された本堂や親鸞聖人の像などが来訪者を迎える。

後継ぎがいなくてどうしよう… お墓が遠くて墓参りもままならない… どこにどんなお墓を建てたら良いか…
お墓のことでお悩みでしたら、ぜひこの機会にお気軽にご相談ください

個人悠久永代 供養墓

永代にわたり合祀せずにお墓を願牛寺がお守りいたします

85万円

永代使用料(1区画0.9×0.9m)
墓石代・消費税込
(字形代は別途)

年間管理料
4,000円(消費税込)



新設 一般墓地 四季折々の花と緑に囲まれた全南向きの墓地

- ◎永代使用料(1区画)
3㎡ (1.8m×1.8m) **25万円**
- 4㎡ (2m×2m) **35万円**
- 6㎡ (2m×3m) **45万円**
- ◎年間管理料 4,000円(消費税込)



永代供養墓(納骨堂・合祀墓)

- 納骨堂 **30万円**
- 原則13回忌まで骨壺でお預かりいたします。13回忌経過後は、合祀墓にお移します。
- 合祀墓 **20万円**



◆その他、**ペット墓**もごございます。お気軽にご相談ください。



カーナビ設定でラクラク! 『常総市蔵持620-1』道に迷ったらこちらへ!!
当日のご連絡先: 090-1405-3804

【お車の場合】 圏央道「常総IC」より約15分(8km)
常磐道「谷和原IC」より約35分(20km)

【電車の場合】 関東鉄道常総線「石下駅」よりタクシーで約10分(4.5km)

◎墓園名/願牛寺墓苑(総区画数54区画) [3㎡20区画/4㎡20区画/6㎡4区画/個人悠久墓10区画] ◎所在地/茨城県常総市蔵持620-1 ◎宗教/浄土真宗本願寺派 ◎運営主体/大高山證誠院願牛寺 ◎今回事務区画/全30区画 ◎永代使用料/3㎡25万円、4㎡35万円、6㎡45万円 ◎年間管理料/4,000円(消費税込) ◎広告有効期限/平成30年9月30日



願牛寺

<https://www.gwangyuji.jp/>
常総市蔵持620-1 TEL.0297-42-3638
東京事務所/TEL.03-5327-7507

お問合せ
お申込みは
指定石材店

株式会社 千石匠
本社/茨城県桜川市真壁町下谷貝2004-2 TEL.0296-54-1586 FAX.0296-54-1972

0120-158-661
<http://www.ishinoyado.co.jp/>